

平成会通信

2024
春

VOL.13

発行: 社会福祉法人 平成会 〒399-6461 長野県塩尻市赤瀬 1298-92 TEL 0263-51-6610 FAX 0263-53-5828 <http://www.heisei-kai.jp/>待ちわびた
春の日ざしの
中で特集 10名の平成会職員が被災地で活動
能登半島地震
支援派遣レポート

施設だより

平成会グループの各施設からの
お便りをお届けします！VOL.13
DAYORI温泉デイサービス
居宅介護支援事業所

湯けむり

住所 長野県岡谷市
南宮3-3-8

開設 2007年11月

定員 20名(一般型)

自慢は、諏訪湖を目の前に眺める天然温泉の大浴場
くつろぎの環境に恵まれたデイサービス諏訪地域の名物、天然温泉を
ゆったりと楽しむ大浴場宿泊施設だった建物を活用したデイサービスです。
一番の自慢は2階の大浴場で、八ヶ岳と諏訪湖を一望
できる天然温泉となっています。「自宅の風呂より外
の温泉」という習慣が染みついた地元育ちの利用者
様に変好で、入浴タイムを心待ちにされています。

管理者より

利用者様が「今日ここに
来て楽しかった」と思って
帰っていただけるように
いつも心掛けています。
歯科衛生士と主任ケアマ
ネの資格を持っています。

原 ほずみさん

季節に合わせたイベントや
諏訪湖周辺の散策で豊かに過ごす「体が温まる」「足の痛みが軽くなった」などと喜ばれ
る温泉入浴のほか、午後の集団体操、趣味活動やレ
クリエーション、送迎の時間を利用したプチドライブ
など、おもてなしの心で職員が考えたさまざまな活動
で、豊かな1日を過ごしていただきます。一人ひとりの利用者様を全員が
理解している職員のチーム力職員は、利用者様一人ひとりの小さな変化にも気付
き、スタッフ間や各所と情報共有するように努めてい
ます。また、併設の「居宅介護支援事業所湯けむり」
は、地域の方々からの介護に関する困りごと相談を
いつでも受け付ける「気軽な話し相手」です。チームワーク
抜群です！

平成会通信 Vol.13

誌面へのご意見・ご感想 お待ちしています！

どんなつぶやきでも
ウエルカム！

編集後記

私の元気の源は食べることです。好きなもの、美味しいものを
食べることは、いくつになっても楽しみなことです。
今号から『うちの施設の自慢のこんだて』コーナーがリニュー
アルしました！ 平成会栄養部の管理栄養士の皆さんが、毎号、
季節の旬の食材を使った美味しいレシピをご紹介します。私
もとても楽しみです。ぜひ注目してください。

なかはら



社会福祉法人 平成会

● ● ● 介護はここ ● ● ●

真心と幸せ、そして心の豊かさを感じられる生活を送って
いただけるよう、今日一日、その全てに一期一会の精神で
臨み、「共に歩む」の法人理念を実践してまいります。

10名の平成会職員が被災地で活動 能登半島地震 支援派遣レポート

今年1月1日に発生した能登半島地震。被災地ではまだ多くの方が不便な生活を強いられています。平成会では、厚生労働省などからの応援要請を受け、災害発生当初から現地へ職員を派遣する被災地支援を行いました。1～3月にかけては10名の介護職員が順次、いしかわ総合スポーツセンターと能登町内の福祉避難所で活動しました。記録写真を交え、3月までの派遣についてレポートします。

Report 01 厚生労働省からの要請に先陣をきって

小澤 佑太さん（介護老人福祉施設 さわらび）

派遣期間 1/21(日)～31(水) (11日間)
活動場所 いしかわ総合スポーツセンター（金沢市）



仕組みがないまま動いた発災初期 個人の情報なしでの介助も難しく

1.5次避難所ということでライフラインの心配はなく、避難されている方々は落ち着いておられる印象でした。メインアリーナにプライベートテントおよそ200基（1基最大2名利用）が設置され、400名くらいが生活していました。高齢者が多く、支援がないと食事を取りにいけないトイレが難しい方、認知症の方もいらっしゃいました。避難者の入れ替わりが多く、お一人お一人の情報がほとんどないまま介助させていただかなければいけなかったのは、とても難しく感じました。



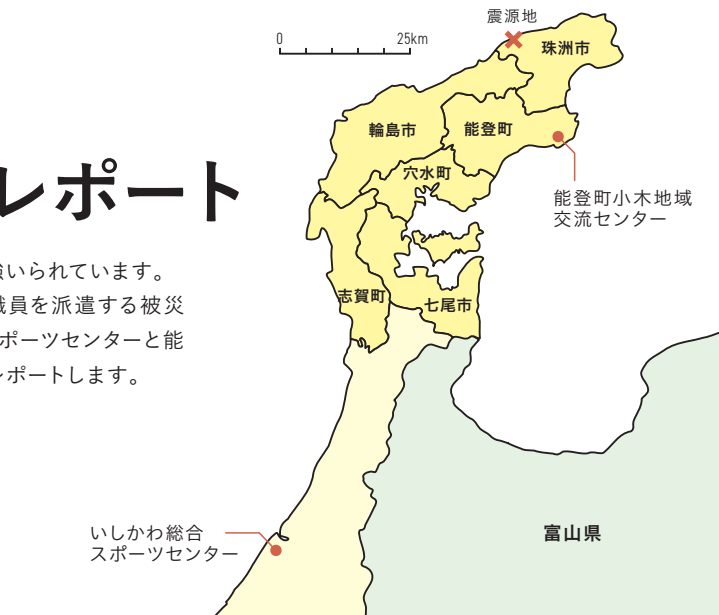
避難所でユマニチュードを実践

活動の中では、日頃から実践している「ユマニチュード」を心掛けました。こういう時だからこそやってみよう、意識して行いました。逆に、施設と違ってご自分でできる方も大勢おられ、介助する・しないの線引きが難しかったです。また、意識していないと「地震」という単語をつい口にしてしまうので、つらいことを思い出させないよう慎重に言葉をお掛けしました。私が行った時はまだ初期段階で、「こういう場合に介護はどう動くのか」という仕組みを試行錯誤して作りながらの活動でした。ですが、介護チームにはいろんな部署の方が混ざっていて、各自の得意不得意に合わせて役割分担できたので、チームとしてうまく働いた部分もありました。

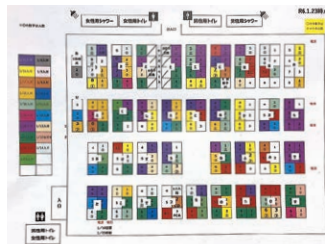
私が勤務するさわらびは福祉避難所に位置づけられています。今回のような冬の季節は暖を取るのが大変で、季節による対応の違いを前もって考えておく必要があると実感しました。



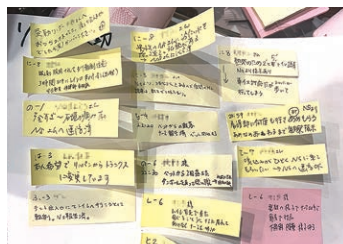
インカムで他チームとも連絡を取りながら、トイレの付き添いなどに対応しました。手で触れたり、目線を合わせたり、ふだん取り組んでいるユマニチュードを避難所でも実践しました。



各地から派遣されたメンバーが即席でチームを結成。10人いれば多い方で、少ないと6～7人で200基のテント全部を見ることもありました。



保健師チームが作成したテントの配置図では、避難者の入所日が色分けされ、介護チームでも活用。ほかにも食事や排泄に関わる分担表などが作られました。



観察や対応などが必要な方の情報を書き込んだ付箋メモ。アナログな手段も情報共有には有効でした。

派遣職員 レポート

【福寿苑】三澤 明子さん、
【寿和寮】藤森 美帆さん

夜 勤帯の要員として、スポーツセンターサブアリーナで活動。メインアリーナと違って、要介護2～3程度の方が多く、ふだんの夜勤業務に近い状況でした。着の身着のまま避難された方のお話を傾聴することしかできず、テントの床に座ってお一人で食事している姿を見た時は心にくるものがありました。

サ ブアリーナの避難者は、自立度、要介護度にかかわらず全員同じ食事内容だったため、食べたいものが食べられずつらい思いをしている方もいました。とにかく話を聞くことに努め、会話の中で少し笑顔が出ると「よかったな」と感じました。少しでも自分にできることを見つけないというのは、ふだんの仕事にも生かせると思いました。

Report 02 長野県ふくしチーム（DWAT）の一員として

松崎 洋子さん（居宅介護支援事業所 寿和寮）

派遣期間 3/23(土)～29(金) (7日間)
活動場所 小木地域交流センター（能登町）



最後のお一人の退所まで見送った福祉避難所

長野DWAT（長野県ふくしチーム）の一員として、2クール連続の日程で活動しました。1月の発災直後からのさまざまな経緯を経て、能登町小木地区では長野県の人材のみ、延べ300名のスタッフが入って避難所を運営しました。この地域交流センターには、1月19日から福祉避難所を開設しました。

定員20名の避難所で、私が入った時は6名が入所されていました。人が減って片付けてしまうと寂しく見えるので、最後のお一人が出るまではテントも段ボールベッドもそのままにしていました。避難所のすぐ近くでは仮設住宅の建設が進められていました。3月28日に最後の避難者が退所され、小木地区の福祉避難所は予定よりも早く閉めて帰ってきました。

災害時の弱者支援の仲間をもっと増やしたい

平成会と家族の理解のおかげでやっと支援に来られたという思いと、道中で目の当たりにした被害の深刻さがうのように穏やかな能登の空・海の景色が、強く印象に残っています。福祉避難所を立ち上げてから閉めるまでを担った300名の一員として行けたことはとてもよかったし、長野DWATの仲間をもっと増やしたい気持ちがあります。災害時の弱者への支援は、消防や医療でなくとも絶対に必要です。ぜひ勉強して研修を受けて、ふくしチームの仲間をもっと増えてほしいです。私たちが被災すること、逆の立場になることを考えた時に、必要な所に必要な支援をどううまく受け取るかを、平時から考えておく大切さを感じました。

山口 ありささん、酒井 義隆さん、田村 陽平さん、平出 鷹也さん
【わかな】モニカ ジュリア ワッティさん、花村 桃香さん

私 が派遣された時は感染症がかなり広がっていた時期。誰が何にかかっているか、情報共有も完全ではない状況で、自分たちもいつ感染するかと怖かったです。避難者の入れ替わりが激しく、コロナ感染が確定した方が翌日には退所されるなど、感染症の収まり方は早かったかもしれません。

介 護メンバーとして派遣されましたが、看護師でもあるので、お通じて悩む避難者の方に「対応できますよ」と話すと安心していただけました。チームメンバーからも看護師としての役割を求められることがあり、「看護師がいてくれる」という安心材料に少しでもなっていたように思います。



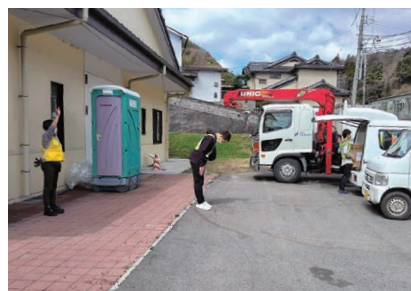
テレビを見て過ごす避難者の方々。皆さん思いを外に出すような会話はなく、天気や相撲の結果などについてのお話をされていました。



2月中旬ごろから栄養士が避難所を回り、配布された食料を栄養別に分類するようになりました。バランスを考えて『こっちのも取ってみたら?』と声を掛けました。



熊本から炊き出しに来ていたキッチンカーには、近所の住民の皆さんが大勢集まりました。



避難されていた最後のお一人が退所された日。深く頭をさげて見送るチームメンバーの姿がありました。

【1.5次避難所】

災害発生直後に避難するのが1次避難所、被災地から離れ、より安心できる環境の宿泊施設などが2次避難所で、1次から2次に移るまでを一時的につなぐのが1.5次避難所。今回の能登半島地震では、支援や配慮が必要な人を優先して1次避難所から受け入れている。

【福祉避難所】

さまざまな配慮が必要なために、一般の避難所で生活し続けることが難しい人を想定した避難所。特別な配慮のための設備・器材・人材などを備えている。また、本人だけでなく家族も福祉避難所の利用対象者となる。

【DWAT（ディーワット）】

災害派遣福祉チーム：Disaster Welfare Assistance Teamの略称。医療関係者によって組織される「災害派遣医療チーム：DMAT」の福祉版。災害時、高齢者や乳幼児、障害のある方など、配慮が必要な人に対して、避難所において福祉的な支援を行う。

平成会の最新情報をお届けします！

平成会タイムス

2024
SPRING

TOPICS

すべての職員が心機一転の春！

令和6年度入社式・辞令交付式

春らしく暖かな天候となった4月1日、令和6年度の法人入社式ならびに辞令交付式を執り行いました。この春、学校を卒業した12名を含む、21名の職員が新たに平成会の一員となりました。辞令が交付され、理事長より歓迎のメッセージが送られました。新入職員を代表して村上詩緒里さんが、優しさと力強い介護への想いが感じられる宣誓を行い、在職職員も心新たに新年度を迎えました。

永年勤続者表彰も行われ、長きにわたり平成会に貢献したとして、19名の方が表彰されました。



フレッシュな新リーダー誕生！

今年度、新しくリーダーになられた方は14名。
そのうちの4名の方に、これからの意気込みをお聞きました。



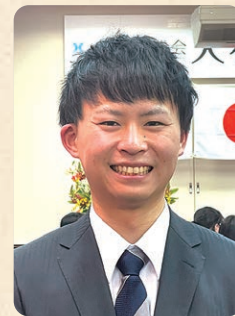
パレデス マリーステラビさん
掬水

フィリピン出身で、日本に来てから介護の仕事を始めて約8年になります。外国人介護職員が増えてきてうれしいです。先輩としてできる限り彼らを助け、日本人の同僚との架け橋としての役割も果たして、生産的で楽しい職場環境を作り出していきたいです。



藤村 雪乃さん
せせらぎ

高校を卒業してから現在まで、せせらぎで勤務しています。食べること、寝ること、動物が大好きです。今年度からリーダーを務めます。利用者様が安心して楽しく過ごしやすい生活が送れるように、また職員の皆さんの支えや力になれるように、精一杯頑張ります。



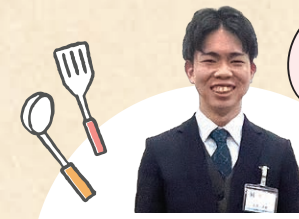
小川 智基さん
福寿苑

7年目になりますが毎日が勉強の日々です。特に今年度は新しい経験を多くし、学ぶ年になると思います。自分の行動言動に責任を持って働きたいです。利用者様が毎日幸せを感じて生活できるよう、また施設を盛り上げていけるように努めていきたいです。



村松 広捺さん
松風

入社7年目、管理栄養士として勤務しています。利用者様、ご家族様、共に働く職員…枝葉のように広がる、共に歩む存在があります。日々の業務でも、自分の選択はよかったのか自問自答の日々ですが、関わりの中で成長することを大切に励みたいで。



いしい だいき
石井 大樹さん
GHさとび／介護職員

新しい資格を取ることにチャレンジしたいです。きびきび行動できる職員を目指します。



おおむら ゆうと
大村 勇登さん
福寿苑／介護職員

先輩職員や利用者様から頼られ、必要とされる職員になりたいです。リーダーを目指します。



うらさわ かなみ
浦沢 叶美さん
さわらび／介護職員

利用者様に「出会えてよかった」と思っていたくれるような介護福祉士を目指します。



いとう みさき
伊藤 美咲さん
松風／介護職員

できることを増やし、やり遂げられる職員になりたいです。利用者様の思いを大切にしたいです。



やまもと さえ
山本 彩依さん
松風／管理栄養士

思いやりの心を持ち、利用者様の幸せづくりのお手伝いをしていきたいです。



ロホマト アリフィアントさん
福寿苑／介護職員

もっと積極的にになり、1年後にはより熟練した、経験豊富な介護福祉士になりたいです。



さわだ もえり
澤田 萌里さん
わかな／介護職員

任された仕事を最後までやり遂げ、利用者様に信頼していただける職員を目指します。



あかはね ひびき
赤羽 陽々姫さん
せせらぎ／介護職員

ポジティブに考えられるところが長所です。利用者様から信頼される職員になりたいです！



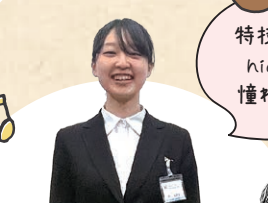
ならき がい
奈良木 冴意さん
せせらぎ／介護職員

いろいろな仕事にチャレンジしたいです。優しくて、頼られる介護福祉士を目指します。



せき ひな
関 妃奈さん
掬水／介護職員

マナーや接遇を覚え、相手や場面に応じた接し方ができるようにになりたいです。



むらかみ しおり
村上 詩緒里さん
松風／介護職員

利用者様の变化にすぐに気が付くようになるため、1日でも早く打ち解けたいです。

New Face!

新入職員・わたしの目標

各施設からのフォト絵日記！

Photo Diary

フォトダイアリー

2024 SPRING

今号のお題

“春”と言えば…

岡谷市 グループホーム さわらび



暖かく穏やかな日

岡谷湖畔公園近くへ桜を見に散歩へ出かけました。爽やかな風の中、久しぶりのお出かけで会話もはずみ、ジュースで乾杯!! 喜びと笑顔があふれました。

下諏訪町 グループホーム 縁



春と言えば桜

グループホーム縁から歩いてすぐの所にある大きな桜の木は、毎年きれいな花を咲かせます。天気の良い日に見に行きました。きっと桜の木も「今年も見に来てくれたわ」と喜んでいるに違いありません。

塩尻市 グループホーム さとび



花より…団子

4月11日（木）お花見に出掛けました。が、残念なことに…花が咲いていませんでした。ツアー名変更「花より…団子」ツアーとなりました。満足・満腹ツアーでした。

箕輪町 グループホーム わかな



散歩日和

ようやく過ごしやすい季節になったので、暖かい春の日差しの下でお散歩しています。桜や水仙、たんぽぽなど、いろんな花を眺める利用者様の顔にも、いつも以上に笑顔が咲いています。

松本市 デイサービス なごみ



パステルカラー

ピンク・黄色・水色・藤色・黄緑色の中から好きな色を選んでいただき、桜の壁飾りを作製しました。桜の花はトイレトペーパーの芯なんです。ホール内は一足先にとても華やかになりました。

注目！
の

ニュース

PICK
UP
NEWS

第13回事例発表会

13回目を迎えた事例発表会。今年度はオンデマンド配信を活用して、参加事業所の発表を視聴し、視聴後はインターネットでの投票を行いました。法人職員の投票の結果、同率1位でグループホームさとび、グループホームさわらびが最優秀賞を受賞しました。

最優秀賞

グループホーム さとび 塩尻市

「心を豊かにする食事の提供を大切にします。」を目指して

GHさとびでは毎回手作りの食事を提供しています。現在、在籍しているインドネシア出身の男性職員4名が食事を提供するために勉強しています。日本食の煮物や煮魚など彼らが作ったことのない食事や、自国の料理を利用者様に合うように工夫している姿を、皆さんに知ってほしいとの思いから発表しました。



最優秀賞

グループホーム さわらび 岡谷市

カンファレンスを通じて取り組んできたこと

利用者様の介護度が年々上がってきている中で、介護職員個々ではなく、チームでの介護が必要不可欠となっています。職員個々の悩みや考えをチームの課題として共有し、ケアにつなげていくために、職員が自由に発言して話し合える機会を設けることはできないかと考え、全体会議をそのきっかけとして取り組んだ事例を発表しました。



平成会の 管理栄養士がお届けする あったか レシピ

vol.1

アスパラの焼かないグラタン

心を豊かにする食事の提供を大切にしている平成会。今回から、平成会の管理栄養士が考案したレシピをご紹介します。初回は、春の食材・アスパラを余すところなく味わえるレシピです！アスパラは地元農家から取り寄せたものを使用しました。焼かないので、グラタン皿もオープンもいりません。



材料 2人分

じゃがいも・マカロニ ……各30g
鶏肉 ……50g
玉ねぎ ……40g
コーン ……20g
アスパラ ……2本
水(ミキサー用) ……40cc
サラダ油 ……小さじ1
バター・薄力粉 ……各20g
牛乳 ……200cc
コンソメ ……2g
チーズ ……10g
パン粉・粉チーズ ……各3g
塩こしょう・パセリ ……各少々

作り方

- 1 じゃがいも・鶏肉は2cm大ほどの角切り、玉ねぎは薄切りにする。アスパラは下から1/3ほどは塩ゆでし、水と一緒にミキサーにかけペースト状にする。残りの2/3は斜めに切り、さっと塩ゆでしておく。
- 2 鍋に湯を沸かし、塩を加えマカロニをゆでる。
- 3 フライパンにサラダ油を入れ、鶏肉→玉ねぎ→じゃがいもの順に炒める。じゃがいもが透き通ってきたら弱火にしてバターと薄力粉を加え、全体を混ぜながら薄力粉をなじませる。粉っぽさがなくなってきたら数回に分けて牛乳を加え、その都度よくなじませる。

- 4 ペースト状のアスパラ、コーン、マカロニを加える。コンソメ、塩こしょう、チーズを加え、味を調えながら煮込む。
- 5 パン粉はフライパンでから煎りをする。色がついてきたら火を止め、ボウルに移してパセリと粉チーズと混ぜる。
- 6 ④にとろみがついたら、斜め切りにしたアスパラを混ぜ、お皿に盛り付ける。⑤を振りかける(斜め切りのアスパラを上にも飾ってもきれい)。

ぜひ
作ってみ
て下さい!

